

どのような場合に、この許可証を使用しま

すか？ 消防設備を停止する場合は、その理由や時間短縮に関わらず、この許可証が必要で

停止が生じるのは、消火設備や自動火災報

知設備、そのシステムの一部分の遮断・停止さ

れた場合、あるいは意図的に稼働させてい

ない場合のいずれかです。

消防設備には以下が含まれますが、これらに

限定されるものではありません：

■ スプリンクラー／水噴霧消火設備

■ すべて消防設備の制御弁

■ 屋外消火栓、連結送水管

■ 消火ポンプ

■ 屋内消火栓

■ 消火配置

■ 消火設備

■ 強化液消火設備

■ 力次第消火設備

■ 自動火災検知設備／火災感知器

国または地域によって、異なる停止通知事

が必要になる場合があります。消防署、警備

会社、保険プロカーへの通知、あるいは入

入損害保険会社への直接の通知が必要に

なる場合があります。

誰がこの許可証を発行すべきですか？

消防設備は、施設における業務を防護する

ための非常に重要な要素です。

これらの設備・システムはすべて、施設におけ

る火災の影響度を軽減する上で非常に重要

な設備、そして事業継続能力に重大な損害

を及ぼす可能性があります。これは事業その

ものに対するリスクであるだけでなく、従業

員一人一人に与えるリスクでもあります。

また、消防設備は、人命保護のためにある

考えられることもできます。早期の通報や安全な

制御することも可能です。

許可証に記載された予防措置の実施

通常、これらの設備に関する作業は、消防設

備関連請負業者によって実施されます。しか

しながら、請負業者は、当該施設で適用さ

れている指針について把握していない可能

性があります。

したがって、許可証発行者が、影響を受ける

区域を点検し、すべての予防措置が実施され

ていることを確認することは重要です。

■ スプリンクラー／水噴霧消火設備

■ すべて消防設備の制御弁

■ 屋外消火栓、連結送水管

■ 消火ポンプ

■ 屋内消火栓

■ 消火配置

■ 消火設備

■ 強化液消火設備

■ 力次第消火設備

■ 自動火災検知設備／火災感知器

なぜ、この許可証を使用するのですか？

消防設備は、施設における業務を防護する

ための非常に重要な要素です。

これらの設備・システムはすべて、施設におけ

る火災の影響度を軽減する上で非常に重要

な設備、そして事業継続能力に重大な損害

を及ぼす可能性があります。これは事業その

ものに対するリスクであるだけでなく、従業

員一人一人に与えるリスクでもあります。

また、消防設備は、人命保護のためにある

考えられることもできます。早期の通報や安全な

制御することも可能です。

許可証に記載された予防措置の実施

通常、これらの設備に関する作業は、消防設

備関連請負業者によって実施されます。しか

しながら、請負業者は、当該施設で適用さ

れている指針について把握していない可能

性があります。

したがって、許可証発行者が、影響を受ける

区域を点検し、すべての予防措置が実施され

ていることを確認することは重要です。

消防設備停止中

■ 消防設備を停止する区域に、追加の消火

■ 消防設備は、施設における業務を防護する

ための非常に重要な要素です。

これらの設備・システムはすべて、施設におけ

る火災の影響度を軽減する上で非常に重要

な設備、そして事業継続能力に重大な損害

を及ぼす可能性があります。これは事業その

ものに対するリスクであるだけでなく、従業

員一人一人に与えるリスクでもあります。

また、消防設備は、人命保護のためにある

考えられることもできます。早期の通報や安全な

制御することも可能です。

許可証に記載された予防措置の実施

通常、これらの設備に関する作業は、消防設

備関連請負業者によって実施されます。しか

しながら、請負業者は、当該施設で適用さ

れている指針について把握していない可能

性があります。

したがって、許可証発行者が、影響を受ける

区域を点検し、すべての予防措置が実施され

ていることを確認することは重要です。

通知先

■ 消防署および/または警備会社

■ 施設の当該組織を管理する緊急時対応組

■ 織、自治消防組織、安全管理組織、おま

■ たり、設備を可及的速やかに再稼働させ

ます。

■ 遮断システム遮断と同程度に重大である

■ スプリンクラー／水噴霧消火設備

■ すべて消防設備の制御弁

■ 屋外消火栓、連結送水管

■ 消火ポンプ

■ 屋内消火栓

■ 消火配置

■ 消火設備

■ 強化液消火設備

■ 力次第消火設備

■ 自動火災検知設備／火災感知器

国または地域によって、異なる停止通知事

が必要になる場合があります。消防署、警備

会社、保険プロカーへの通知、あるいは入

入損害保険会社への直接の通知が必要に

なる場合があります。

消防設備停止中

■ 消防設備を停止する区域に、追加の消火

■ 消防設備は、施設における業務を防護する

ための非常に重要な要素です。

これらの設備・システムはすべて、施設におけ

る火災の影響度を軽減する上で非常に重要

な設備、そして事業継続能力に重大な損害

を及ぼす可能性があります。これは事業その

ものに対するリスクであるだけでなく、従業

員一人一人に与えるリスクでもあります。

また、消防設備は、人命保護のためにある

考えられることもできます。早期の通報や安全な

制御することも可能です。

許可証に記載された予防措置の実施

通常、これらの設備に関する作業は、消防設

備関連請負業者によって実施されます。しか

しながら、請負業者は、当該施設で適用さ

れている指針について把握していない可能

性があります。

したがって、許可証発行者が、影響を受ける

区域を点検し、すべての予防措置が実施され

ていることを確認することは重要です。

消防設備停止後

■ 消防設備は、施設における業務を防護する

ための非常に重要な要素です。

これらの設備・システムはすべて、施設におけ

る火災の影響度を軽減する上で非常に重要

な設備、そして事業継続能力に重大な損害

を及ぼす可能性があります。これは事業その

ものに対するリスクであるだけでなく、従業

員一人一人に与えるリスクでもあります。

また、消防設備は、人命保護のためにある

考えられることもできます。早期の通報や安全な

制御することも可能です。

許可証に記載された予防措置の実施

通常、これらの設備に関する作業は、消防設

備関連請負業者によって実施されます。しか

しながら、請負業者は、当該施設で適用さ

れている指針について把握していない可能

性があります。

したがって、許可証発行者が、影響を受ける

区域を点検し、すべての予防措置が実施され

ていることを確認することは重要です。

消防設備停止後

■ 消防設備は、施設における業務を防護する

ための非常に重要な要素です。

これらの設備・システムはすべて、施設におけ

る火災の影響度を軽減する上で非常に重要

な設備、そして事業継続能力に重大な損害

を及ぼす可能性があります。これは事業その

ものに対するリスクであるだけでなく、従業

員一人一人に与えるリスクでもあります。

また、消防設備は、人命保護のためにある

考えられることもできます。早期の通報や安全な

制御することも可能です。

許可証に記載された予防措置の実施

通常、これらの設備に関する作業は、消防設

備関連請負業者によって実施されます。しか

しながら、請負業者は、当該施設で適用さ

れている指針について把握していない可能

性があります。

したがって、許可証発行者が、影響を受ける

区域を点検し、すべての予防措置が実施され

ていることを確認することは重要です。

消防設備停止許可証キット

消防設備を停止する場合は、その理由や時間の長短に関わらず、この許可証が必要です。消防設備には、スプリンクラーヘッド、スプリンクラーバルブ、消火ポンプ、消火配管、消火栓、ガス系消火設備、火災報知器などが含まれます。

新規許可証

使用していない許可証はすべて、下のポケットに保管します。

使用済み許可証の保管

使用済みの許可証はすべて、監査や点検ができるよう、所定の場所に保管してください。許可証を2枚とも必ず保管してください。

許可証の再注文

許可証は、スイス損害保険会社のリスクエンジニア、アンダーライター、または保険ブローカーを通じて再注文できます。

許可証が緊急に必要な場合

スイス損害保険会社のリスクエンジニアまたはアンダーライターを通じ、当社のデジタルコピーから、許可証のコピーを印刷します。

デジタル許可証の印刷方法

許可証のページ全体を標準的な用紙に印刷します。印刷した許可証を、示されている線に沿って、ふたつ折りにし、ふたつに切り離します。

デジタル許可証にはカーボンコピー機能がないため、すべての記載事項を許可証の両方に確実に転記するようにしてください

有効な許可証：許可証が下部に収められている場合、消防設備が停止しているため、すべての予防措置が講じられていなければなりません。また、危険な火気使用作業*は全面的に中止され、火気監視員が監視に当たる必要があります。

停止前

- 作業の実施を計画する場合は、就業時間外など、火災の危険が最も少ない時を選んで実施するようにしてください。
- 緊急の状況下で消防設備を停止する場合は、必ず下記の予防措置すべて講じるとともに、許可証が速やかに発行されるようにしてください。
- 危険を伴う工程・プロセスに対する消防設備が停止される場合は、その工程・プロセスを停止することが推奨されます。
- 許可証の発行は、停止の理由や時間の長短に関わらず、実施する必要があります。

許可証の発行

消防設備の許可証発行者のみが許可証を発行することができます。以下の手順に従ってください：

- 新規許可証を用意し、全項目を記入します。
- すべての予防措置が講じられていることを現場で確認します。
- 許可証を切り離し、許可証の1枚目を下のポケットに入れます。
- 停止する設備・システムに許可証の2枚目を掲示します。

消防設備の停止と火気使用作業

火気使用作業の代替案を常に検討する、または、火気使用作業にはその専用区域を使用することが望まれます。

しかしながら、火気使用作業が必須であれば、消防設備の停止を避ける必要があります。

火気使用作業区域直上の自動火災報知設備（火災感知器）が誤作動してしまう危険がある場合は、その自動火災報知設備（火災感知器）を遮断することができます。

注：許可証を屋外または湿度の高い環境で使用する場合、許可証をプラスチックのカバーまたはホルダーに封入します。